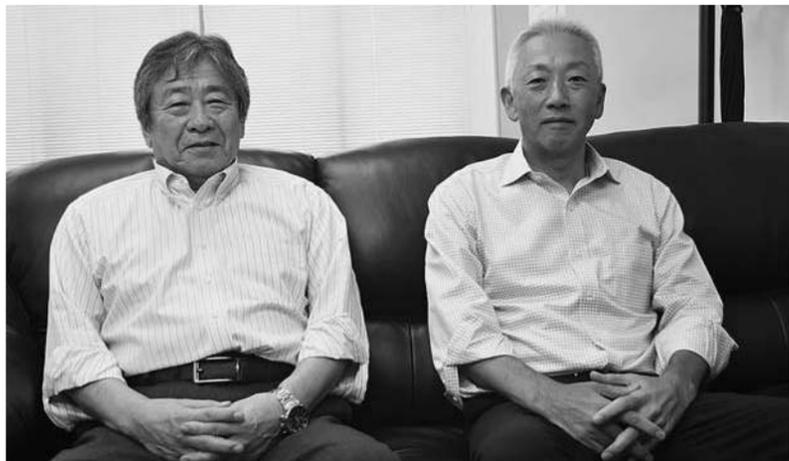


J S R A 適正処理と利用ニーズに応える



鳥海理事長(右)と石毛顧問(左)

協同組合 日本タイヤリサイクル協会(JSRA)は、5月に開催した第32回通常総会で役員改選を行い、鳥海重利理事長が再任された。通算4期目の舵取りが始まった鳥海理事長に、廃タイヤの熱源利用を中心とした需給状況や改正省エネ法施行後の業界動向、会員数が昨年度7社も増加した背景、共同納入量の現状、さらにタイヤチップの小型化、廃タイヤリサイクルの今後の見通しなどについて幅広く聞いた。同協会の石毛慎也顧問、平山和彦事務局長の補足回答も加えてお伝えする。(堀川)

需給ひっ迫の現状

改正省エネ法で急変

鳥海理事長の通算4期目がスタートしました。改めて、抱負や意気込みを教えてください。

鳥海 廃掃法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)を遵守し、廃タイヤの適正処理に努めながら、利用先のニーズに応じた規格の商品を供給することがJSRAの基本理念です。JSRAが従来から実施している政策を維持・継続していきつ

お聞きします。国が推進している廃タイヤ関連の施策を教えてください。

鳥海 2023年4月に施行された「改正省エネ法(エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律)」によって、廃タイヤの利用先が化石燃料、特に石炭使用の削減を図るために、廃タイヤ

特別インタビュー

イクル)量について全体では77・6万トン、有効利用率は99・2%と高水準となっています。製紙工場の利用量は前年比10%増加しました。

鳥海 省エネ法の改正で、石炭などの化石燃料使用を減らすために、廃棄物由来燃料を増やそうとしていることが既存工場での増量の要因と考えられています。加えて、JSRAに対して新規に利用したいという相談も増えています。真摯に協議を重ねて

出しているようですが、報告しなければなりません。その有効な施策として、石炭使用を減らし、代わりに廃タイヤを含む非化石燃料の使用を増やしたため、廃タイヤの需要が急増したのです。

鳥海 廃タイヤは焼成用燃料として高い熱量を持ち、これを利用することで化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を削減することに繋がります。

平山 輸入の海外からの廃タイヤチップ輸入量は、前年比約6万トン増の14万トンと過去最高になったというところですね。

協同組合 日本タイヤリサイクル協会 鳥海重利理事長に聞く

や木屑、廃プラスチックなどの廃棄物由来の燃料使用が増加し、廃タイヤへのニーズ、使用量が拡大しているというのが現在の状況です。

現在の廃タイヤ需要拡大の背景がそこにあるようにですね。日本自動車タイヤ協会が調査した2023年の廃タイヤ発生量の傾向についてはどんな印象でしょうか。

鳥海 発生量は2023年に対して、トン数ベースでは約8%減と聞いています。これが今後どうなるかは分かりませんが、規模事業所はすべて有効利用(廃タイヤリサ

おります。昨年9月に操業を開始された、燃料用リサイクルタイヤチップの製造・販売を手がけるリファイナリー(株)(富士市)の新規利用で供給量はより増加しました。既存工場での国内調達量は横ばいから減少したように見えますが、輸入や他の非化石燃料から補充されているとみられます。国内の廃タイヤの需給バランスと輸入量についてのお考えを教えてください。

鳥海 あくまでも廃タイヤは発生物であり、供給量が増えるからといって、増量することではございません。需要が増えれば国内発生量で賄えないので、海外からの輸入が増えると考えています。

石毛 改正省エネ法では、製紙会社に限らず大規模事業所はすべてC O。排出量削減計画を提

港に万遍なく荷下ろしされています。全国的に、化学、セメント工場での国内調達量は横ばいから減少したように見えますが、輸入や他の非化石燃料から補充されているとみられます。国内の廃タイヤの需給バランスと輸入量についてのお考えを教えてください。

鳥海 今回の新規の会員は、全て既存の会員の推薦で、希望された方々です。廃タイヤの中間処

会員数増加の背景

J S R A の姿勢に共感

JSRAの活動について伺います。現在正会員39社、賛助会員14社ということですが、特に23年度の1年間で7社も新規加入されました。何か特別な取り組みをされたのでしょうか。背景にはどんなことがあるのでしょうか。

鳥海 今回の新規の会員は、全て既存の会員の推薦で、希望された方々です。廃タイヤの中間処

理業者は小規模事業者なので、共通する課題を解決するためにネットワークが必要であり、廃タイヤの中間処理業が一つの業界として認知される事が重要と考えており、そんな考え方に共感されたのではないかと思います。

石毛 新規にオファーされている業種は技術的な課題を克服前の「トラ

鳥海 23年度は新規に採集した利用先への納入も始まりました。また、従来の業種とは異なり、商社や自動車関連会社からの問い合わせもあり、各種情報の分析を踏まえつつ、今後の対応について協議しています。

鳥海 加入後の新会員の感想にも、多彩な情報や、今後の見通しを立てやすいなどがあり、喜んで頂いております。

鳥海 最近の廃タイヤ利用先拡大の取り組みと成果について教えてください。

NANKANG FREE YOUR WAY SINCE 1959

台湾で最も歴史の長いタイヤメーカー

~人とは違う価値観を~

グラスホッパー **GRASSHOPPER** ROLLNEX CR-9 誕生。

郡山中央タイヤ販売株式会社 ☎ 024-945-4211

本社 〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字彼岸塚22-4 <http://chuo-tire.jp>

福島店 〒963-0102 福島県福島市瀬上町字西中川原88-1 ☎ 0245-54-4820

ふるさとに生きる、ふるさとを創る!

ふるさとが元気になる地域絶品づくりのすすめ

農業、漁業などが産業の中心で、行き詰りに陥っている地方にいま生活している人達が自らの力で、地元で眠っている魅力ある商品「ふるさと絶品」を発掘し、商品化するための最新プログラムを、マーケティングコンサルタントの二人が具体的な成功例を紹介しながら丁寧に初公開! こうした絶品づくりが人も絶品にしていける!

吉川京二 / 佐竹嘉廣 共著

◆国立小樽商科大学特任教授(マーケティング) ◆フリーコンサルタント

定価1620円税込 四六判164頁

【絶品づくりの構成(目次)】

- 第1章 地域絶品づくりとは
- 第2章 ふるさとが元気になる5つの基本原則
- 第3章 食の絶品づくりの開発ステップ
- 第4章 絶品づくりの3か年計画
- 第5章 具体的事例

木本書店 東京都港区新橋 5-14-3 電話 03-6402-7708 <http://www.kimotoshoten.co.jp>

